

東日本区次期理事方針

2022-2023 年度 基本方針

東日本区 次期理事 佐藤重良 甲府 2 1

主題 “Let's act now for the future”

「未来に向けて今すぐ行動しよう」

スローガン “Do something for someone and have an enjoyable club life for yourself !”

「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」

今年度は ワイズメンズクラブ国際協会創立 100 周年・東西日本区ワイズメンズクラブ創立 25 周年の年度であります。ワイズメンズクラブ国際協会のモットーは「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」であります。このモットーのもと、国・世代・性別・宗教の違いを乗り越え YMCA および地域社会に奉仕活動をしておりますが、ワイズメンズクラブの「世の中の認知度が低い」と思います。もっと私どもが積極的に情報を発信して、私たちの奉仕活動を知っていただくようにならなければなりません。現状のクラブ奉仕活動をさらに充実させるとともに、現在実施中のスマホでの QR コードの活用・ナイトフォーラム実施等を進化させ、引き続き継続実施していくべきと思います。

地域奉仕・Y サ事業：ワイズ活動の要です。この事業活動と国際交流事業が活発にされることによりワイズの認知度がアップされ、会員増強事業・ユース事業へ効果的に繋がっていきます。私たちの先人は 100 年前から YMCA への奉仕活動を通して素晴らしい遺産を蓄積してきました。これから先も YMCA への奉仕を柱にし、活動を活性化していきましょう。YMCA 同盟・各地の YMCA (海外を含めた) と常に十分な情報交換をして、ワイズメンができることを最大限活かし、相互協力・プロボノ*活用等特色ある奉仕活動をしていくことが必要と思います。YMCA のプログラムである青少年育成、弱い立場人々、高齢者、貧困、非常時(伝染病・災害時)等に我々が積極的にかかわり、私たちだから出来るパワー・経験・能力・技術等を発揮して奉仕していきましょう。

会員増強事業：私たちが諸活動をする時、一人では少ししかできないが、大勢になれば知恵と工夫で大きな奉仕活動ができます。IP・AP からの最重点事項が「会員増強」です。私たちはこの目標達成のために、今すぐに行動することです。一人一人が友人・知人・会社関係者等に働きかけ、クラブ例会に招待しましょう。そして入会を促しましょう。目標の会員数 1246 名を達成しましょう。

国際交流事業：世界の YMCA のネットワークと連携し、国際交流事業にもっと目を向け、海外との交流と奉仕活動を活性化しましょう

ユース事業：若い人材への支援強化、特にユースはワイズをどう見ているか、ワイズに何を期待しているかを分析し、YMCA 同盟・地域の YMCA と情報交換を密にし、ワイズの特徴を活かして Y3 クラブを設立 ・リーダーズフォーラム等の支援をし、未来のためユースの支援強化をしていきましょう。

私たちの活動に一番大切なことは、クラブ員間の信頼と友情です。私は、ワイズメンズクラブに入会し一番良かったことは多くのクラブ員との出会ってきたことです。人生の宝物とっております。色々な方と交流ができ、意見交換できたこと、フォーラム・卓話など有意義な勉強ができたこと等 今までになかったことを沢山いただきました。

ワイズメンズクラブに関係する全員が

「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」としましょう

* 「プロボノ」とは、「公共善のために」を意味するラテン語「Pro Bono Publico」を語源とする言葉で、【社会的・公共的な目的のために、職業上のスキルや専門知識を活かして取り組むボランティア活動】を意味します。

佐藤重良 作成 2021年10月12日

2022/02/14 改